



地域学校協働活動を核とした地域づくり
～本を通して地域をつくり、未来を担う子どもを育む！～

この講座では、県内外の本を通じた地域学校協働活動実践事例から、本と関わる楽しさを味わう取組が子どもを育むだけでなく、人をつなぎ、地域づくりにつながっていることを知り、自身の地域でできること、学校のカリキュラムマネジメントに活かせることを考えたり、様々な立場の方と熟議体験をしたりしました。そして、自身の地域や学校の地域学校協働活動に活かせるように、学んだことを持ち帰っていただきました。

本を通じた具体的な実践事例を聞き、様々な立場の方々と地域学校協働活動を考え、つながりと広がりを実感できる講座となりました。(受講者 43名)

〈研修内容〉

- 講義 演題 「地域学校協働活動を核とした地域づくり」
- 実践発表 「本で人をつなぎ地域に活力を生む冊子『いよし百冊物語』づくり」
「本と子どもを結ぶ活動を続けて」



文部科学省CSマイスター 猿渡 智衛 氏
いよ本プロジェクト 岡田 有利子 氏
千曲市社会教育委員 小林 いせ子 氏

トークセッション

- 「本とつなぐ、人とつながる～地域学校協働活動における本の可能性～」
- 様々な方々との熟議体験・ワークショップ
「目指す子どもの姿、地域の未来に繋がる地域学校協働活動を考えよう」
「地域学校協働活動の可能性についてひろげよう」



受講者アンケートから

- 本を通じてたくさんの人とのつながりが広がっていくのがよくわかり、とても素敵だなと思いました。人と人をつなぐ何かを媒体にネットワークが広がっていくことは、学校教育の中でも活かそうだと思いました。(学校教職員)
- 同じグループの方と意見交換したこと、ワールドカフェ方式で他のグループから意見をいただき、アイデアを楽しみながら得ることができた。つながるっていいですね。(国・県職員)
- 色々な意見を聞くことが出来た。自分でもやってみようかなと思う事のヒントになりました。熟議の経験は地域での意見を聴いたりするときにも役に立つと思いました。(学校支援に関わるボランティア等)
- 地域活性化にいかしたいです。(一般)